

## ひがし労 東京

JR東労働組合 東京地本  
発行人 関根 輝明  
編集者 西沢 明男

### 8.9 各級機関代表者会議 一般協議会設置の意義を確認！

『**当たり前の労働運動を推し進め、組合員と家族の利益を第一義に守ること**』の結成理念を多くの労働者に広め、  
新たな労働者の結集軸を創造し、組織展望を切り拓こう！



各級機関代表者会議 松下委員長挨拶（要旨）

2020年8月9日

JRひがし労は、コロナ禍における情勢を正しく掴み、具体的な方針のもと臨時大会の開催を通じて新たな労働者の結集軸を創造することを目指していきます。そして、労働組合の存在意義と使命を全うするため『**抵抗とヒューマニズム**』を掲げて広範な運動を展開し、組合員と家族の利益を守っていきます。

#### 【第5回臨時大会の3点の焦点】

1 点目に、規約・諸規則の改正と個人加入についてです。6月20日に開催した第4回大会の運動方針の『JRひがし労とその運動に共鳴する労働者の加入を目指します』の提起に踏まえた、規約・諸規則の改正を行います。そして、JRひがし労への個人加入を実現する事にあります。このことによって、職業や雇用形態、人種などに関係なくあらゆる労働者がJRひがし労へ加入できる資格を有する事が出来ます。

2 点目は、追加人事と専従の設置についてです。個人加入した組合員が抱える労働問題を解決するため地本とは別に受け皿となる体制を確立します。①本部執行副委員長を1名追加し専従に指定します。②個人加入者の組合員から特別執行委員を選出します。③都道府県ごとの組合員数に応じて「一般協議会」の設立を目指します。そして、地方の窓口として組合員の負託に応えていきます。

3 点目は、追加・補正予算の確立についてです。情報発信の費用、人件費等の予算が第4回大会では計上していません。追加の補正予算を組み替えます。以上、第5回臨時大会で追加方針を提起します。

#### 【個人加入を推し進める意義】

個人加入を実現する意義は、JRひがし労の新たな組織展望を切り開くことにあります。JRひがし労の結成理念は、**当たり前の労働運動を推し進め、組合員と家族の利益を第一義に守ること**です。

権力者の側はつねに労働組合野存在意義を無くしていくようになっていっています。だから、労働三法に「労働者代表制」を導入しようとしています。具体的には、社員の過半数を持たない労働組合は団体交渉権も争議権も持たせない。そうなれば、自己保身と立身出世にかられた代表者が何でも容認することになり、馬車馬のように働かされ続けるだけではなく、合理化施策など何でも会社の意のままに事が運ぶということになります。

経団連から要請された政府は同意し、連合は容認していくことで政財労が一体となって推し進められています。「労働者代表制」を見越して誕生した社友会はそのような任務を帯びて活動しているのです。「労働者代表制」の導入を何としても阻止し、社友会を解体することは組織展望を切り開くことに繋がるのです。

このようななかで、新型コロナウイルス感染症における影響によって、労働者の解雇・雇止めが後を絶たず、その大半は非正規労働者です。また、フリーランスの労働者も仕事が無いため失業状態となっています。コロナ禍における失業者数は、7月1日の3万1710人からわずか1カ月後の30日には4万人を超えています。例え解雇されていなかったとしても賃金の未払いや休業手当が支給されず、生活が困窮している労働者が急増しています。このような労働者との団結や連帯を通じてこそ、弱い者の立場に立つことの出来る大衆の中の真の労働組合であると言えます。この情勢を踏まえて、コロナ禍における運動の継続と組織展望を切り開いていきます。

今後は、JRひがし労への「個人加入」を各級機関で実践しましょう。加入促進を通じて得た成果を教訓化するための場として第5回臨時大会を開催します。とりわけ、「個人加入」の取り組みを通じた組織の強化・拡大の実現と、これまでの労働組合の形に捉われない組織を確立するためにも、職場からの議論を通じて組合員との実践を図ってください。さらには、現在の状況に安住している未加入者や企業内労働組合に在籍している危機感のない他労組組合員に対しても、情勢を踏まえた運動課題を提起し、JR本体における組織拡大を同時並行的に行っていただきたいと思います。第5回臨時大会の成功を勝ち取り、秋の闘いにおいて「命と生活と自由」を守ることを掲げて運動を展開しましょう。